

## 僕、スナメリ



こんにちは。僕、スナメリの赤ちゃん。イルカの仲間です。住所は大村湾。お母さんと一緒に岸近くの浅い所を静かに泳ぎ回っています。県民の皆さんのすぐそばで暮らしているのに、お目にかかる機会がほとんどないのは寂しいですね。

それは僕たちスナメリが、他のイルカに比べて地味だからかもしれない。イルカというと、大海原をジャンプしたり、水族館で楽しいショーを見せたりするイメージをお持ちでしょうが、あれはバンドウイルカなど大型の仲間。スナメリには背びれがなく、群れもつくりえず、ジャンプもしない。派手なパフォーマンスは苦手なんだ。

長崎大水産学部の竹村暘教授によると、スナメリは日本では五個所で生息しているが、他の海域との交流はない。大村湾で生まれたスナメリは一生をここで過ごす。だから、大村湾が豊かできれいな海であり続けてくれることが、僕の最大の願い。

授乳期間は一年と長いので、母子のスキンシップは十分だよ。スナメリには、他のイルカのようになくちばしが無い。丸顔なんだ。よく「可愛い」って言われる。

県の人たちが「スナメリと共生できる環境を」を合い言葉に、大村湾浄化運動に乗り出すと聞いた。とてもうれしい。スナメリの生息数は環境状態を測る重要な目安になるらしい。

国の調査では大村湾のスナメリは三百頭足らず。もっとも仲間が増えるよう、皆さんの協力をお願いします。

平成十五年五月十七日『水や空』（長崎新聞）より